

### 「ちからの経営」設計書の策定事例

福岡県中小企業団体中央会は、経営理念、企業文化、技術・ノウハウ、ネットワーク等、無形の「ちから」を活用した企業経営を「ちからの経営」と呼び、これらの「ちから」を活かした取り組みを「ちからの経営」設計書にまとめ、企業内外に開示する取り組みを支援しています。

今回は、リノベーション事業を中心とした「空間デザイン」、デザイン・コピー・編集などの「広告デザイン」、様々なプロダクト開発を行う「商品デザイン」を手掛ける株式会社アポロ計画（福岡市）の松山社長、植村専務、藤田チーフデザイナーに、当社の取り組みをお伺いしました。

#### 『ちからの経営』設計書、策定のきっかけ

2000年に「アポロ計画」を立ち上げました（2001年に法人化）。以降、スタッフが増え、組織体制も変化していく中で、もう一度会社の方針を確認したいと思っていました。

また、空間・広告・商品デザイン、それぞれの部門で経営状況は異なります。その向上や底上げを図るためマネジメント強化に取り組んでいますが、我流での経営改善には限界もあり、「外部の目を入れたい」と考えていました。

特に広告部門は「提案型営業へのシフト」が課題であり、「ニッチ分野でのナンバーワンになる」という目標を掲げています。しかし、なかなか具体策やアクションには結びついていませんでした。

そのような中で中央会のメルマガで「ちからの経営」設計書（以下、設計書）の策定支援を知り、ユニークなネーミングにも惹かれ、取り組んでみる事としました。

#### 策定プロセスを通しての気づき

中小企業診断士の石橋薦先生と中央会の指導員の方の支援を受けながら策定に取り組みました。外部の方にあらためて当社の事業や強み（知的資産）等を見て頂く事で、様々な発見や気づきを得る事ができました。

例えば、当社で日常的に使用しているリフォームやリノベーション等の言葉も、その意味をあらためて質問される中で、外部の方には説明が必要な事に気付きました。

また、策定会議の終了後には毎回「宿題」が出されました。既存業務がある中で、宿題に取り組む事は大変でしたが、期限に向け集中して取り組む事で、少しずつ先に進んでいく事が出来たと思います。

通常自らの業務に専念しているスタッフが、会社全体を俯瞰して把握する事は難しいものです。当設計書の策定に取り組む事で、部門ごとにバラバラだった情報を「整理」する事ができたと思います。



策定した「ちからの経営」設計書（一部抜粋）

## 設計書をどのように活用しましたか？

### 活用したいですか？

設計書を策定した事で、自社の強みを表現する「マスタープラン」をつくる事が出来たと思います。記載した内容は、求人票やホームページ作成等に活用しています。

設計書にはKPI（重要業績評価指標）を盛り込んでいます。KPIは数値目標なので、数字で目標を管理・検証する習慣を社員に定着させる効果もあると思います。

設計書を策定して半年が過ぎ、記載したKPIについては進捗が遅れているものもあります。今後は社内の会議でも設計書にもとづきPDCAサイクルを回す事で、目標達成を目指します。

なお設計書を策定した後、広告事業の一部門から撤退する事を決めました。設計書を策定する中で、当社の強みを見直し、ビジョンを考える事で、やるべき事・やめるべき事が明確になったと思います。

### どのような方に設計書の策定をすすめたいですか？

設立し10年以上経っている様な企業にお勧めしたいと思います。がむしゃらに頑張ってきた企業も、業務が中だるみ、ルーティン化してしまう時期があると思います。

そんな時に、いったん立ち止まり、外部の視点も取り入れることは、会社を改めて見なおす機会になると思います。

中小企業が自己負担でコンサルタント等を利用する事は費用的にも難しいと思いますので、中央会の「ちからの経営」設計書策定支援の様な公的な支援を活用される事をおすすめします。



左から、藤田さん、松山社長、植村専務

### 今後の取り組みについて教えてください

設計書の策定支援を受けた事で、今まで「点」だった事業部門を「線」として繋ぐ事が出来たと思います。今後は、目標（KPI）の達成に向け、アクションプランを実行していく事で、「線」が「面」となり、事業間のシナジー（相乗）効果も出てくると思います。

「空間・広告・商品デザイン」は“モノづくり”。当社は、この“モノづくり”を通して、お客様の“売上づくり”に貢献し、地元九州を盛り上げていきます。

特に現在力を入れているのは、地元中小企業の方を対象とした「商品開発デザインサポート」事業です。この事業も成功事例やノウハウを積み重ねていく事で、当社の「知的資産」としていきたいと思います。

### 企業概要

企業名：株式会社アポロ計画  
所在地：福岡市中央区大手門3-12-12  
TEL：092-738-9099  
FAX：092-732-4639  
URL：<http://www.apollo-keikaku.com/>

「ちからの経営」（知的資産経営）HP：<http://www.chuokai-fukuoka.or.jp/chikara/index.html>

※株式会社アポロ計画の「ちからの経営」設計書も公開しています

「ちからの経営」設計書の策定支援は企業支援室（TEL 092-622-8780）までお問い合わせください